



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ROTOBO

2026年(令和8年)9月25日号 No.2035

目次

■ 2026年ロシア連邦下院選・統一地方選の結果速報	1
■ 統計速報	12
2026年1～7月のロシアの貿易	12
■ トピックス	13
テラドローン、ウクライナ企業を連結孫会社化	13
KUMON、モンゴルでの正式展開を開始	13
ベラルーシ、米国の制裁緩和と引き換えに25人を釈放	13
日・ウズベキスタン外相会談が実施	13
米国、対ロ制裁法案が成立	13
日・ウクライナ首脳会談が実施	14
EU、対ロ制裁を3年間延長	14

2026年ロシア連邦下院選・統一地方選の結果速報

(一社)ROTOBO ロシアNIS経済研究所 次長
中馬 瑞貴

はじめに

2026年9月18～20日にかけて、ロシアでは戦時下では初となる連邦下院選挙が行われた。ロシアの下院選挙は定数450議席のうち、半数の225議席を小選挙区、残りの225議席を連邦一律の政党名簿による比例代表制で選出する。9月23日時点で中央選挙管理委員会が発表した暫定結果によれば、比例で得票率58.21%を獲得し、小選挙区でも大半で勝利を収めた政権与党「統一ロシア」の圧勝となり、法改正に必要な3分の2議席以上はもちろん、過去最多議席を確保する見通しである。2位以下は、ロシア共産党、ロシア自由民主党、「新しい人々」、「公正ロシア」と続き、今回も5政党が比例区で議席を獲得した。

下院選挙と同時に行われた統一地方選挙では、8地域で実施された首長選挙において政権が支持する現職全員(代行含む)が当選を果たし、39地域で行われた構成主体議会選挙でも、比例区については、得票率の差はあれ、すべて「統一ロシア」が第一党となった。

以下では、今回の連邦下院選挙と統一地方選挙の結果速報を、選挙に対するロシアの政治家、専門家による評価とともにまとめる。25日に発表予定の選挙の最終結果とより詳細な解説・分析については、後日『ロシアNIS調査月報』でご紹介するのでそちらも参考にしていきたい。